

ロータリーデー

～いっしょに近松さんを学ぼう～

下坂部小学校浄瑠璃クラブの活動と尼崎文化・近松を学ぶ

尼崎東ロータリークラブ

会 長 田中 正喜

青少年奉仕委員長 石本 一也

近松門左衛門（1653～1724年）は江戸時代に人形浄瑠璃（文楽）や歌舞伎の世界で活躍した、世界に誇る劇作家です。「東洋のシェークスピア」と称され、100編以上の脚本を残しました。流麗で音楽的な文章の中に、現実の憎さや悲しさ、葛藤、不条理が込められた特色ある作品は、今なお愛されています。

そんな近松の墓所が尼崎市の広済寺にあります。広済寺の周辺は古墳や由緒ある神社があり、風情が感じられ「近松の里」として市民の憩いの場として親しまれております。



尼崎市立下坂部小学校浄瑠璃クラブは、近松門左衛門の菩提寺・広済寺が校区内にあることから、郷土学習の一環として平成3年から続いています。

校歌にも「大近松の名とともに」と歌われ、今年で創立138年目を迎える伝統ある小学校で、地域が学校に高い関心を寄せる土地柄でもあります。

発足して25年目になる浄瑠璃クラブでは、毎年校内で伝統文化に触れる「近松デー」や、近松記念館での「大近松祭」に出演し、浄瑠璃を披露しております。

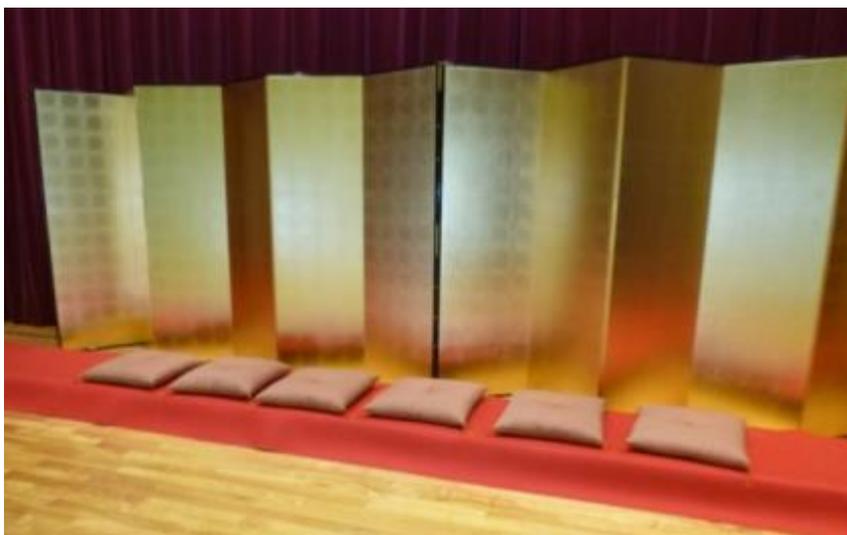
現在は4年生から6年生の16人が月に2回、お師匠さんに教わりながら踊りや語り、太鼓、三味線などの練習に励んでおります。



浄瑠璃クラブでは決まった予算は無く、地域のボランティアに支えられ活動を行って来ましたが、衣装・道具・備品等の不足・老朽化に加え、化粧品などの消耗品にも多額な費用を必要としております。

このままでは子供たちによる地域伝統文化の承継と、特色ある教育活動に支障が出ると思われ、ロータリークラブが支援のご提案をさせていただきました。

尼崎グループ6つのクラブが結束して予算を捻出し、加え 2,014-15 年度R I D 2 6 8 0 ロータリー財団地区補助金 未来の夢計画（奉仕プロジェクト）に補助金申請をさせていただきご協力を頂きました。



平成26年9月10日

尼崎東ロータリークラブ例会において、尼崎市立下坂部小学校 校長 今村七美様を講師としてお招きし、「地域に息づく近松門左衛門(下坂部小学校浄瑠璃クラブの活動を通して)」というテーマのもと、お講話をしていただきました。

今村七美校長先生は「子供たちが浄瑠璃をきっかけに、自分の住んでいる地域やふるさどについて知ってほしいと思います。大人になった時、浄瑠璃の体験が誇りや自信『自分はこのことができる』という自尊感情につながれば」と語ります。



平成26年11月27日

下坂部小学校教育プログラム「近松デー」に、尼崎グループガバナー補佐をはじめ6つのクラブより会長、幹事等多数出席させていただき、浄瑠璃関連備品一式の寄贈をさせていただきました。

「近松デー」では浄瑠璃クラブによる舞台発表、そして全校生徒で下坂部音頭を踊り、各教室においては近松検定が行われるなど伝統文化に触れる一日となっております。

当日は寄贈させていただきました衣装、屏風、三味線などを用いて「寿式三番叟」を全校生徒、ロータリークラブメンバーの前で披露させていただきました。(教職員、児童、父兄、ロータリアン含め約350名参加)







平成27年3月7日 尼崎市中小企業センターにて、ロータリーデー「いっしょに近松さんを学ぼう」下坂部小学校浄瑠璃クラブの活動と尼崎文化・近松を学ぶ を開催いたします。当日は尼崎グループ6RC主催で、下坂部小学校浄瑠璃クラブの児童をはじめ指導者の皆様、保護者の方々、そして多方面の皆様に参加していただき、浄瑠璃クラブによる寿式三番叟、近松音頭、そして会場の皆様と共に近松学習、近松クイズなど楽しく学ばせて頂きたいと考えております。

この度のプロジェクトを通じて、地域の皆様にロータリークラブの活動をより理解していただきます機会とともに、子供たちが地域社会に誇りを持ち、未来のロータリアンとして活躍する日を楽しみにしております。

Rotary 

ロータリーデー

～いっしょに近松さんを学ぼう～

下坂部小学校 浄瑠璃クラブの活動と尼崎の文化・近松を学ぶ



日時：平成27年3月7日（土） 午前11時～午後1時
場所：尼崎中小企業センター1階
内容：寿式三番叟・近松音頭・浄瑠璃クラブのひみつ
近松学習・近松クイズ（以上予定）
出演：尼崎市立下坂部小学校 浄瑠璃クラブ児童

主催：尼崎グループロータリークラブ
尼崎ロータリークラブ・尼崎北ロータリークラブ・尼崎東ロータリークラブ
尼崎西ロータリークラブ・尼崎南ロータリークラブ・尼崎中ロータリークラブ
後援：尼崎市、尼崎市教育委員会